

第 3 学年 国語科学習指導案

日 時	平成 17 年 10 月 19 日 5 校時
場 所	遠野市立遠野小学校
学 級	3 年生 (男子 14 人, 女子 14 人)
指導者	菊池 伸
共同研究者	佐々木美紀 (青笹小) 鈴木久美子 (鱒沢小)

1 単元名 大事なことをたしかめよう (教材名「すがたをかえる大豆」) 光村 3 下

2 単元について

(1) 教育の時代要請

小学校国語科の目標は、「国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成」「伝え合う力を高める」「思考力や想像力及び言語感覚を養う」「国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」ことである。そのためには、焦点化された学習内容のもと、児童が課題意識をもって授業に臨み、自分なりの考えをまとめ、それを互いに伝え合うことのできる授業がもとめられる。

(2) 単元全体の教材観

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の 2 領域を関連付けた学習ができる複合単元の構成になっている。読むことの教材「すがたをかえる大豆」で読み取ったことを生かし、書くことの教材「食べ物がかせになるう」で調べたり書いたりする学習活動につなげていくことをねらっている。

「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものが多く、児童に意外性をもって知ることの喜びを与えることができる内容といえる。教材文は段落構成、中心文、キーワードが明確で、3 年生の児童に説明文の読み取りの力をつけさせるうえで有効な教材である。

「食べ物がかせになるう」は、読みの学習を通して身につけた力をもとに、疑問や興味をもった事柄について本で調べ、先の説明文をよい参考例として集めた情報を文章にまとめる学習活動を設定している。

(3) 児童について

児童は、一学期の説明文教材「ありの行列」の学習において、説明文の基本構成「初め(問い) 中 終わり(答え)」や「段落」について学んできている。また、教材文をすらすら読むことについて重点的に指導してきた。

しかし、事前に行った自作のテスト(レディネステスト)の結果を見ると、問いの文やまとめの段落を指摘する問題の正答率は概ね良好なものの、段落の役割をもとにまとまりに分ける問題(正答率 50%)や接続詞を指摘する問題(正答率 50%・36%)の正答率が低い。また、全体の正答が半数に満たない児童もおり、説明文を読む力が十分に育っているとは言えない。

また、「書くこと」については、一学期の「おもしろいもの、見つけた」の学習において、知らせたいことを整理して書くことを学んできている。しかし、書くことの技能や量などは個人差が大きく、段落の中心を意識して書くことや段落の役割について意識して書ける児童は少ない。

(4) 単元全体の指導観

このような教材観や児童の実態をふまえ、次のような手立てを組み、指導していくこととする。
ア．教材の特性やレディネステスト結果をもとに、指導内容を明確化することで、確かな学力を形成できるようにしていく。

イ．課題解決場面では、自分の考えをもたせるとともに、書かせる場(ひとり学びの場)を設定することで、常に学習に主体的に取り組みせ、学習の個別化を図る。

ウ．また、友達と考えを交流させる場(学び合いの場)を設定することで、他者との関わりあい

- の中で学んでいく力を培い、ひとり学びにも必要感をもたせるようにする。
- エ．食べ物博士として調べたことを整理して文章にまとめたものを，クラスでまとめて本にする活動を設定することにより，読む目的を明確にするとともに活動への意欲を高める。

4 単元目標および評価規準

国語への関心・意欲・態度

食べ物について書かれた読み物や図鑑などに興味をもち読もうとする。

伝えたいことが明確になるように，段落相互の関係に注意して書こうとする。

書くこと的能力

調べたい事柄の情報を本から収集し，書くための材料を取捨選択することができる。（書くことイ）

書こうとするものの中心を明確にしなが，段落相互の関係に注意して書くことができる（書くことエ）

読むこと的能力

中心となる語や文，段落相互の関係を考え，大豆をおしく食べる工夫について大事なことを落とさず読み取ることができる。（読むことイ）

言語事項の能力

文章全体における段落の役割を理解することができる。（言語事項オ(1)）

5 単元の指導・評価計画（17時間扱い）

週	時	目 標	学習活動	評価規準
第 一 次	1	・ 興味を持ち教材文を読み，感想を書いたり話したりする。	・ 全文を読み感想を書く。 ・ 感想を交流する。 ・ 音読練習する。 ・ 単元のめあてを立てる	< 関心・意欲・態度 > ・ 興味を持ち教材文を読み，感想を書いたり話したりしている。 【ノート記述・発言】
	2	・ 文章構成を読み取り，「初め 中 終わり」の大きなまとまりをつかむ。	・ 文章構成を概観する。 ・ 学習の見通しをもつ。 ・ 音読練習する。	< 読むこと > ・ 文章構成を読み取り，「初め 中 終わり」の大きなまとまりをつかんでいる。【ノート記述・発言】
	3	・ 話題提示段落を読み，大豆の特徴について読み取る。	・ 話題提示部分（ 段落）を読む。 ・ 音読練習する。	< 読むこと > ・ 筆者がどのように話題提示しているか，その工夫について読み取っている。【ノート記述・発言】
	4	・ 大豆をおいしく食べる工夫について，一つ一つの段落を読み，正しく読み取る。	・ 大豆をおいしく食べる工夫（ 段落）について読む。	< 読むこと > ・ 大豆をおいしく食べる工夫について，一つ一つの段落を読み，正しく読み取っている。 【ノート記述・発言】
	5 本時		・ 大豆をおいしく食べる工夫（ 段落）について読む。	
	6		・ 大豆をおいしく食べる工夫（ 段落）について読む。	
	7	・ 文章構成を確かめ，書く際に生かせることについて理解する。	・ まとめ（ 段落）を読む。 ・ 文章構成を確認し，書く際に生かせることを話し合う。	< 言語事項 > ・ 文章構成を確かめ，書く際に生かせることについて理解している。 【ノート記述・発言】
第 2 次	8	・ 「食べ物がかせになろう」を読み，学習の見通しをもつことができる。	・ 「食べ物がかせになろう」を読み，学習の見通しをもつ。	< 関心・意欲・態度 > ・ 「食べ物がかせになろう」を読み，学習の見通しをもっている。 【態度・発言】

9	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことを決め、学習計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことを決め、学習計画を立てる。 	<p>< 関心・意欲・態度 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたいことを決め、学習計画を立てている <p>【ノート記述・態度】</p>
10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> 本で調べたい食べ物についての情報を収集し情報カードに書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本で調べたい食べ物についての情報を収集し、情報カードに書く。 	<p>< 書くこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> 本で調べたい食べ物についての情報を収集し、情報カードに書いている。 <p>【カード記述】</p>
13 14 15	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードをもとに情報を整理し、文章を書いて本を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を整理し文章にまとめる。 	<p>< 書くこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報カードをもとに情報を整理し、文章を書いて本を作っている。【作文】
16 17	<ul style="list-style-type: none"> 本を読み合い、段落や説明の仕方に着目しながら互いに感想を述べ合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本を読み合い、評価しあう。 	<p>< 関心・意欲・態度 ></p> <p>< 言語事項 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 段落や説明の仕方に着目しながら感想を述べる事ができる。【記述・態度】

5 本時の指導

(1) 指導の構想

本時は「大豆をおいしく食べる工夫」を読み取る2時間目である。

「つかむ」の段階では、前時までの学習を想起させながら本時の学習課題をつかませる。また、大豆博士になるための条件「大事なことを落とさず読むこと」「読み取ったことを説明できるようになること」を押さえ、読みの目的意識をつくるようにする。

「みとおす」の段階では、課題を解決するために「おいしく食べる工夫が端的に書かれてあるところ」「どのようにすがたを変えているのか」の2点について読んでいくことの見通しをもたせる。

「とりくむ」の段階は、自分の考えをもたせ、書かせる場を設定する。その手立てとして、最初に「おいしく食べる工夫が端的に書かれてあるところ」を探しノートにまとめさせる。次に「どのようにすがたを変えているのか」を考えさせる。その際、大豆から別の食品ができあがるまでの過程について、手を加える時の言葉を手掛かりに順序にまとめさせることで、より文章の内容を理解させたい。段落の内容は、一斉指導で読み取りの学び方を理解させ、段落ではその力を生かして児童に自力解決させたい。

「たかまる」の段階は、考えを交流させる場を設定する。最初になり同士のペアで考えを交流させる。その後、上手に交流ができていくペアを代表として発表させ、全体で段落の内容を確認する。

「まとめる」「ふりかえる」の段階では、本時学習した内容や学び方をふりかえり、学習したことをもう一度自分の言葉でまとめていく作業を行わせる。また、本時の学び方について自己評価させる場面を設定し、児童に学習したことの充実感や達成感をもたせ、次への学習意欲へつなげていきたい。

(2) 本時のねらい

第5・6段落を読み、大豆をおいしく食べる工夫について読み取ることができる。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
つ か む 3 分	1 学習課題を確認する。 「大豆をおいしく食べるくふうについて読み取ろう。」	大豆博士の条件 ・大事なことを落とさず読む ・読み取った事を説明できる 本時で扱う食品 豆腐・納豆・みそ・醤油	<ul style="list-style-type: none"> 大豆博士になる条件を確認し、読みの目的意識をもたせる。 本時で扱う食品について確認し、本時の学習課題をつかませるとともに、内容への意欲付けを図る。

<p>みとおす5分</p>	<p>2 課題解決の見通しを持つ。</p> <p>3 学習段落(段落)を読む。</p>	<p>読みの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べる工夫 ・どのようにすがたを変えているのか <p>音読(一斉読)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの視点を児童に確認するために板書する。 ・学習場面をつかませるため一斉読させる。
<p>とりくむ20分</p> <p>たかまる10分</p>	<p>4 大豆をおいしく食べる工夫について読み取る。</p> <p>(1) おいしく食べる工夫を端的にノートにまとめる。</p> <p>(2) 段落を全体で話し合いながら読み取る。</p> <p>(3) 段落を自力で読み取る。</p> <p>(4) 読み取ったことをペアで発表しあう。</p> <p>(5) 全体で発表する。(代表児童)</p>	<p>中心文</p> <p>大切な栄養を取り出す工夫 小さな生物の力をかりる工夫 段落の相互の関係</p> <p>豆腐ができあがる過程 手を加える時の言葉 すりつぶす, 絞出すなど 指示語「これに」しる</p> <p>納豆ができあがる過程 みそができあがる過程 手を加える時の言葉 むす</p> <p>小さな生物 = ナットウキン コウジカビ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心文に線を引かせ確認する。 ・ の中心文を比べ, その共通点・相違点からそれぞれの段落の工夫を端的にまとめる。 ・手を加える時の言葉を手掛かりに豆腐ができあがる過程を順序にまとめる。 ・全体の話し合いで読み取ったことを教師が板書し, 段落の自力解決に役立てるようにする。 ・納豆が終わったらチャレンジコースよしてみそに取り組ませる。 <p>具体の評価規準</p> <p>A ちがう食品にする工夫を適切にノートにまとめている。</p> <p>B ちがう食品にする工夫をノートにまとめている。</p> <p>Cの子への支援 書き方の例を示したヒントカードを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・となり同士のペアで発表させる。その際, 相手に理解してもらおうという意識を持たせる。 ・代表児童の発表と合わせて, 重要語句を押さえる。
<p>まとめる・ふりかえる7分</p>	<p>5 本時の学習をふりかえりまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をノートにまとめる。 ・学習の自己評価をする。 ・発表する。(代表児童) <p>6 次時の学習内容を確かめる。</p>	<p>まとめの文例</p> <p>今日は～について学びました。～に気がつくとよく分かりました。</p> <p>自己評価項目</p> <p>ふりかえりプリント参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板をもとに学習した内容や学び方についてふりかえさせる。 ・上記のふりかえりができている児童数名を指名し発表させる。 ・ 段落の書かれてある工夫について今日の学び方を生かしながら読み取っていくことを簡単に話す。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> <p>とうふの 写真</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> <p>納豆・みそ 醤油の 写真</p> </div>	<p style="text-align: right;">すがたをかえる大豆</p> <p>課題 大豆をおいしく食べるくふうについて読み取る う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;"> おいしく食べるくふう </div> <p>どのようにすがたをかえるのか</p> <p>手をくわえる時の言葉 こそあご言葉</p> <p>ちがう食品にするくふう</p> <p>大切なえいようだけを 取り出す</p> <p>小さな生物の力を かりる</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 大豆をすりつぶす</p> <p>(2) しるを熱する</p> <p>(3) 中身をしぼり出す</p> <p>(4) ニガリをくわえる</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 大豆をむす</p> <p>(2) ナットウキンを加える</p> <p>(3) あたたかい場所におく</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 米や麦をむす</p> <p>(2) コウジカビをまぜる</p> <p>(3) しおを大豆にくわえて まぜ合わせる</p> <p>(4) 暗いところにおく</p> </div> <div style="width: 45%;"></div> </div>
---	--	---

(5) 座席表

黒板側

1 2	1 6
1 3	4
8	1 8
2 2	1
1 4	1 5

2 9	2 8
2 3	6
3	2 0
2 5	2
2 4	2 1

2 6	1 0
7	2 7
1 9	9
1 1	5